

行政減量・効率化有識者会議

政策金融改革ワーキングチーム（第2回）議事概要

1．日時

平成19年7月18日（水）14：00～16：15

2．場所

永田町合同庁舎2階第2共用会議室

3．出席者

〔委員・専門委員〕

翁百合（主査）、榎谷隆夫、多胡秀人、富田俊基、深尾光洋、松田千恵子、宮脇淳の各委員、島根祐一専門委員

〔事務局〕

福井良次行政改革推進本部事務局長、江澤岸生行政改革推進本部事務局次長、青木一郎行政改革推進本部事務局次長 ほか

〔国民生活金融公庫〕

飛田康隆理事、伊藤健二移行準備室長

〔農林漁業金融公庫〕

坂野雅敏理事、太田豊彦経営改革部副部長

〔中小企業金融公庫〕

舎川登理事、岩間邦彦新政策金融機関移行準備室長

〔国際協力銀行〕

森本学理事、家田嗣也移行準備室長（国際金融等業務）

〔商工組合中央金庫〕

迎陽一理事、森英雄総務部長

〔日本政策投資銀行〕

多賀啓二理事、山本直人総務部長

〔公営企業金融公庫〕

木村功理事、山内健生総務部長

4．主な議題

- （1）統合に向けた主要課題についての4機関の連携した取組状況に関するヒアリング
国民生活金融公庫、農林漁業金融公庫、中小企業金融公庫、国際協力銀行から同時にヒアリング
- （2）新体制への円滑な移行に向けた課題に関するヒアリング（完全民営化・廃止機関）
商工組合中央金庫、日本政策投資銀行、公営企業金融公庫からヒアリング

5．議事の経過

開会

統合に向けた主要課題についての4機関の連携した取組状況に関するヒアリング

資料に沿って4機関を代表して国民生活金融公庫からの説明が行われた後、委員から述べられた主な指摘は以下のとおり。

- ・ 統合後の組織のガバナンスについては、これまでの4機関が行ってきたガバナンスの違いを整理した上で、新しい機関のガバナンスのあり方を検討していくことが重要。
- ・ 資金調達については、外貨建てでファイナンスするのは、コスト面の有利性だけでなく、業務の確実な実施との関連も含めてよく検討すべき。
- ・ 今後の融資規模について、部門ごとに予算要求をするだけでなく、全体としての規模をどうするのか、いずれかの段階で全体像のチェックが必要。
- ・ 20年度の予算要求については、下半期は統合機関としての要求となるため、統合の全体像が分かる説明を今後求めたい。
- ・ 民業補完や国民負担、政策コストの在り方等を検討していく上で、E L（予想損失）、U L（非予想（予想を超える）損失）という信用リスクの計測は、非常に重要であり、高い優先順位で取り組むべき。
- ・ 融資業務の効率化の観点からのシステム対応の問題についても、非常に重要であり、高い優先順位で取り組むべき。
- ・ 業務の効率化、コスト削減への取組に関しては、店舗統合以外の事項についても幅広く着手すべき。
- ・ 統合後は、人材交流を積極的に行い、各機関のノウハウの共有に努めると同時に、個々のサービスの低下に繋がることのないよう配慮すべき。

新体制への円滑な移行に向けた課題に関するヒアリング（完全民営化・廃止機関）

〔商工組合中央金庫〕

資料に沿って商工組合中央金庫からの説明が行われた後、委員から述べられた主な指摘は以下のとおり。

- ・ 特別準備金の償還について、何らかの目途や基準を考慮しておくことが必要ではないか。
- ・ 特別準備金という公的資金を使い、コストがかかっているということを十分認識して経営されたい。
- ・ 株式会社への移行により、組織としての体質・構造が本質的に変化し、これまで国で決めてきたものを株主が決めることとなることについて、取引先等の理解を得ることが重要である。

〔日本政策投資銀行〕

資料に沿って日本政策投資銀行からの説明が行われた後、委員から述べられた主な指摘は以下のとおり。

- ・ 投資と融資を一体的に行うビジネスモデルを採用するのであれば、利益相反の可能性やそれぞれのリスク評価の違いに十分留意すべき。また、3,000億円のファンド出資ということを考えると資本の充実が必要ではないか。
- ・ 政策投資銀行は、政策的に投資・融資を行うとしても、民営化後は、「政策金融」から撤退することになり、国の政策ではなく、政策投資銀行の政策として行っていくことになると思うが、この辺の考え方を整理しておくべき。

[公営企業金融公庫]

資料に沿って公営企業金融公庫からの説明が行われた後、委員から述べられた主な指摘は以下のとおり。

- ・ 新機構が資金調達を市場から行っていくためには、貸付審査体制の充実を図り、自立した存在としてマーケットからの信認を得ていく必要がある。
- ・ 実際に貸し付けた資金が貸付先においてどのように使われるのかについて、しっかりとチェックすべき。

閉会

< 文責：行政改革推進本部事務局（速報のため事後修正の可能性あり） >

今回会議の資料は、行革事務局ホームページの次の箇所に掲載しています。

http://www.gyokaku.go.jp/genryokourituka/working_team/index.html